

<p>科目名：臨床実習Ⅲ-2<総合実習></p> <p>(Clinical training Ⅲ-2)</p> <p>履修年次/時期：3年次 後期 授業形態：実習</p> <p>担当教員： 山本裕子（実務経験有）、中向井政子（実務経験有）、田島小百合（実務経験有）、 角田晃（実務経験有）、戸田真司（実務経験有）、山内雅人（実務経験有）</p>		必	1 単位
学修目的	<p>歯科衛生士業務を修得するために、歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>DP(1・2・3)、CP(3・4・5・6) 科目 No.S3C13H09</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医師からの指示内容を理解し、実践できる。 2. 対象者に応じたコミュニケーションがとれる。 3. 医療安全管理に配慮した行動ができる。 4. 歯科衛生士に必要なスクリーニングと検査ができる。 5. 資料やデータから歯科衛生士業務の内容を判断し、行動できる。 6. 対象者に応じた保健管理指導ができる。 7. 予防的歯石除去の実際ができる。 8. 業務記録を記載できる。 		
授業概要	<p>臨床の場で歯科衛生士 3 大業務（歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療補助）を学ぶ。</p> <p>I 神奈川歯科大学附属病院 3F 先進歯科における実習 （実習方法および内容）</p> <p>前期臨床実習Ⅲ - 1 に引き続き 先進歯科において、患者実習（予防的歯石除去・歯面研磨・保健管理指導）を行なう。</p> <p>（予習）配布された資料で事前学習を行う。</p> <p>（復習）業務記録の確認をして、実習を振り返る。</p> <p>（ルーブリック）実習終了後に記入する。 実習終了日にルーブリックを提出する。</p> <p>II 歯科診療所における実習 （実習場所）神奈川県・東京都内の歯科診療所 （実習方法および内容）3年次の9月以降に行う。オリエンテーション時に概要説明を行う。</p> <p>① 歯科衛生士業務を修得するために、歯科診療の場を通してして歯科衛生士として必要な知識、技術および態度を身につける。</p> <p>（予習）学修ノートを整理する。</p> <p>（復習）実習した内容を正しく理解し、把握するためにその内容、必要器材、手順、注意事項を記録し、指導者より点検を受ける。学修ノートに実習で得た知識を書き加え整理する 全体を通しての反省・感想文を提出する</p> <p>III 行動目標</p> <p>1. 神奈川歯科大学附属病院 先進歯科</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ① 歯石除去のための器材が準備できる。 ② 医療安全管理に配慮した行動ができる。 ③ 口腔内観察ができる。 ④ 歯石除去（予防的歯石除去・歯科診療補助としての歯石除去を含む）の実際ができる。 ⑤ 歯石除去後の歯面研磨ができる。 ⑥ 保健管理指導ができる。 ⑦ 業務記録が記載できる。 <p>2. 歯科診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 診療体系を理解し、診療補助が実践できる。 ② 予防的歯石除去（歯面研磨含む）・歯科保健指導が実践できる。
評価方法	<p>本試験 50%、臨床実習評価 50%（実習への参加度、提出物など）</p> <p>実習に対するフィードバックは随時個別に行う。</p> <p>試験に対するフィードバックは掲示にて行う。</p>
教科書	専門科目・基礎科目テキスト
参考書	専門科目・基礎科目テキスト
問い合わせ 連絡先	<p>山 本 月～金 12:50～13:30 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 3号館2F 研究室</p> <p>中向井 月～金 12:40～13:20 16:40～17:00 nakamukai@kdu.ac.jp 3号館2F 研究室</p> <p>田 島 月～金 16:40～17:00 tashima@kdu.ac.jp 3号館2F 教員研究室</p> <p>角 田 月～金 16:30～17:00 tsunoda@kdu.ac.jp 4号館2F 研究室</p> <p>戸 田 月～金 12:10～13:00、16:30～17:00 toda.s@kdu.ac.jp 4号館2F 研究室</p> <p>山 内 月～金 12:10～12:50、17:10～17:30 yamauchi@kdu.ac.jp 4号館2F 研究室</p> <p>*各教員ともに、不在時はメールでご連絡ください。</p>